

【参考資料1】

排出方法の仕組みと利点・欠点

	料金体系図	料金体系の仕組み	利点	欠点
<p>一定量 無料型 (超過 量有料 方式) ※現行 の萩市 の制度</p>		<p>排出量が一定量となるまでは手数料が無料であり、排出量が一定量を超えると排出者が排出量に応じて手数料を負担する方式。市がごみの排出に必要となるごみ袋について一定の枚数を無料で配布し、更に必要な場合は排出者が有料で購入する仕組み。</p>	<p>一定の排出量以上のごみを従量制とすることで、特にその量までの排出抑制が期待できる。</p>	<p>費用負担が無料となる一定の排出量以下の範囲内で排出量を抑制する動機付けが働きにくい。ごみ袋の配布のためにかかる費用が必要となるため、制度の運用に要する費用が増す。</p>
<p>排出量 単純比 例型</p>		<p>排出量に応じて、排出者が手数料を負担する方式。単位ごみ量当たりの料金水準は排出量にかかわらず一定。</p>	<p>制度が単純で分かりやすい。 排出者毎の排出量を管理する必要がなく、制度の運用に要する費用が他の料金体系と比べて安価である。</p>	<p>料金水準が低い場合には、排出抑制につながらない可能性がある。</p>

※環境省『一般廃棄物処理有料化の手引き』から引用

【参考資料2】

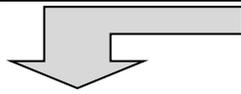
無料配布しているごみ袋の総額

配布枚数：約 77 万枚×50 円/枚＝約 3,850 万円

ごみ袋の購入にかかる費用 ※萩市の平均的な世帯構成人数＝1.86 人/世帯

(無料配布枚数：燃やせるごみ大 20 枚、プラスチック製容器包装 10 枚)

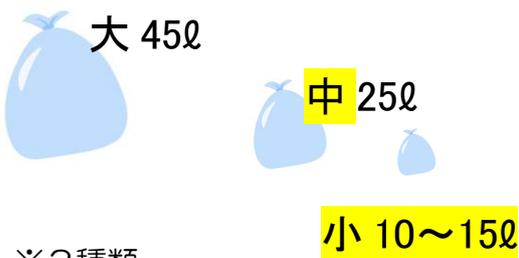
現在	販売枚数 ①	世帯 ②	無料 配布	販売枚 数/世帯 ① /②	袋換算 10 枚/袋	販売価格 10 枚/袋	購入費用
燃やせるごみ 大	634,200 枚	22,456 世帯	20 枚	28.24 枚	3 袋	500 円	1,500 円
プラスチック 製容器包装	112,500 枚	22,456 世帯	10 枚	5.01 枚	1 袋	500 円	500 円



変更案	販売枚数 ③	世帯 ④	必要 枚数	袋枚数	袋換算 10 枚/袋	販売価格 10 枚/袋	購入費用
燃やせるごみ 大	634,200 枚	22,456 世帯	48.24 枚	50 枚	5 袋	300 円	1,500 円
プラスチック 製容器包装	112,500 枚	22,456 世帯	15.01 枚	20 枚	2 袋	300 円	600 円

【参考資料3】

袋の大きさ（サイズ）について 【燃やせるごみ】

現在	変更案 ※市民の声「もっと小さいサイズがほしい」
 <p>※2種類</p>	 <p>※3種類</p>